

## ウォルト ディズニー(DIS)

【セクター】 コミュニケーションサービス

【市場】 NYSE

## 【企業概要】

米国の大手娯楽企業です。世界各地のディズニーランドの運営、ディズニー映画のほかマーベル、ルーカスフィルムなどを傘下に置く映画製作、テレビ番組の制作（スポーツ専門チャンネルのESPN、ABCテレビなど）を併営しています。部門別の営業利益は、パークス、エクスペリアンス&コンシューマー・プロダクツ部門が59%、メディアネットワーク部門が36%、スタジオ・エンターテインメント部門が8%、ダイレクト・トゥー・コンシューマー&インターナショナル部門がマイナス4%となっています（18年10-12月期）。

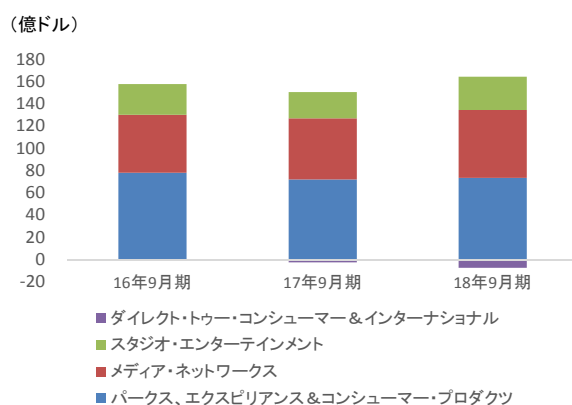
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年9月期	55,137	8,997	5.70	1.56	27.5	21.3	48.2
18年9月期	59,434	10,480	6.95	1.68	32.5	23.3	54.7
19年9月期予想	71,818	10,884	6.69	1.77	49.5	14.5	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

## 【主要指標】

図表1 部門別営業利益



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

図表2 ネット動画配信サービス比較（米国内）

	月額料金 (ドル)	加入者 (百万人)
Netflix	8.99-12.99	61
Hulu	5.99-11.99	約25
HBO Now	14.99	約5
Youtube プレミアム	11.99	約1.5
CBS All Access	5.99-9.99	約2.5
Showtime (ネット)	10.99	約2.5
Starz (ネット)	8.99	3.5以上
ESPN+	4.99	約2
Disney+	?	?

注：Huluは同社が過半を出資する事業です。

(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

## 【会社の見方】

メディア事業では主力のスポーツ専門チャンネルESPNのケーブルTV局での加入者減少を受けて、ネットを通じて消費者と直接つながる方向で立て直しを進めています。ESPNではネット版の「ESPN+」を18年から開始、映画・ドラマの「Disney+」を19年後半に投入する計画です。パーク事業は安定した人気により売上・利益とも着実に成長を遂げ、映画事業はヒット作の有無によって収益変動が大きいものの、中長期では拡大基調にあると見られます。

## 【見通し・注目点】

インターネットTVの市場には、Netflix、アマゾンのプライム・ビデオ、AT&T傘下のHBO、アルファベットのYoutubeなどの競合もありますが、元々のディズニーほかの映像コンテンツに加えて昨年21世紀フォックスの映像コンテンツを買収しており、競争力は十分と考えられます。「Disney+」の立ち上げに向けて、コンテンツの取得、マーケティング費用、技術への投資などで費用が高見通しで、今年度の利益を抑える要因になると見込まれます。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/7/3)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。